

日本平和委員会発行
2008年9月25日号付録
1950.12.16 第3種郵便物認可
郵便振替 01240-1-1713
E-mail heiwaoka@nifty.com

平和新聞

岡山版

編集 岡山県平和委員会
〒700-0905
岡山市春日町4-26 地方自治会館内
TEL 086-224-3787, FAX 086-224-3785
<http://homepage2.nifty.com/heiwaoka/>

岡山県ではじめての国民保護実動訓練

岡山市で化学剤を想定



9月6日、「市民のつどいおかやま2008」が開かれ、平和分科会では「国民保護」について話し合われました。

報告者は岡山市総務局審議監・防災担当の奥山雅昭さんと岡山県平和委員会の中尾元重会長。それと岡山十五年資料センターの上羽修氏の資料を基に県平和委員会の藤田滋事務局長が鳥取県の国民保護訓練について報告しました。

軍事優先 「そのけ自衛隊が通る」

藤田事務局長は鳥取県の国民保護シミュレーションでは「大規模避難のとき、自衛隊は53号線という最も大きい道路を上下車線占有すると主張したので、鳥取県民が岡山に避

難するときは482号線と言つ4Mギリギリの山のくねくね道を通ることになる。2万4千人の避難は現実的には無理な計画を立てていることが明らかになった」とのべました。

「ここでも自衛隊は有事のとき国民を守らないことが明らかになりました。国民保護法制は国民を守るために作ったという建前なのですが、じつは「通行の禁止または制限に従わなかった車両の運転者」にも罰則規定があるのです(190条)「もしも」のときは国民はパニックになります。自衛隊が通るからあの53号線が通れないというのは、理不尽以外のなにものでもありません。絶対大挙してあの道を通ろうとするに違いありません。警察は最悪の場合は「力」でもって封鎖ラインを超え

た住民を「止める」でしょう。それが「国民保護法」の実態です。

中尾会長は法の歴史的説明と国民保護計画を紹介し「憲法の立場からはあつてはならない計画。これは戦争をする立場から、国民を動員、排除し、戦争をしやすくする事を狙っている」と訴えました。

岡山の国民保護実動訓練はどうなる？

11月に国と岡山県が共同で初めて行なう実動訓練は岡山市で化学剤を想定して行われます。今年一月の図上訓練では、市内において化学剤を飛散させる爆発テロにより多数の死傷者が発生し、犯行グループは岡山港方面に逃走、公共施設に立てこもり抵抗しているため、付近の住民を全員避難させる想定で行われました。

日本平和会が

11月14日から16日にかけて神奈川で行われる予定の日本平和大会で神奈川は、諸般の事情で中止になる可能性が高くなっています。学習パンフはそのまま普及して下さい。



これ一冊で現代の平和の課題がすべて見渡せる日本原の写真も出ています。一冊200円。10冊以上190円。(送料別) 100冊以上180円(送料込み) 注文は県平和委員会事務局へ

岡山県平和委員会の携帯ブログ

<http://plaza.rakuten.co.jp/okayamanoheiwa/>

谷口事務局次長が北海道へピースエッグに行ったレポートが載っています。是非のぞいてみて下さい。(「岡山県平和委員会 携帯」で検索してみてください)

総社平和委員会
地域に根ざした
活動をしています

総社市で平和委員会の組織的活動を再開したのは、イラクに自衛隊が派遣されようとする03年12月でした。

最初の取り組みは、地域に呼びかけて「イラク派兵反対」の共同の運動をつくることでした。森住卓氏の「イラク、戦争と子供たち」写真展を市役所一階ロビーで開催できるようになり、毎年、市民への平和問題の資料提供として写真展などを行ってきました。

会の運営は、毎月の例会で相談して取り決めます。例会参加は多くて7-8人、最少は2人ですが、特別の例外を除き開きません。毎年の年次総会では、地域に平和委員会が存在することの意義を確信にできました。(事務局長 東)

2008年「12・8平和のつどい」の開催決定

しばらく行なわれていなかった「12・8平和のつどい」ですが、8月28日と9月5日に県平和委員会、革新岡山の会、新婦人県本部、県ジャーナリスト会議の4者による実行委員会が開催され、今年はどのように開催されることが決まりました。

岡山のイラク派兵差し止め訴訟は11月に結審して来年に判決予定です。

日時：12月8日 月曜日 午後6時30分から

場所：国際交流センター2階 国際会議場

内容：講演 池住義憲さん（自衛隊イラク派兵差し止め訴訟の会代表）

演題 「イラク派兵違憲判決を活かす道」

報告 清水善朗さん（岡山訴訟の弁護団事務局長）

今後の予定

☆「岡山・十五年戦争資料センター第5回研究会」

9月27日(土)13:30~16:30県生涯学習センターミーティング室2

報告：全円子さん(岡山商科大学講師、在日2世)「在日、戦後を生きる」

☆76期岡山労働学校「活憲教室」入学式 単発参加1000円、通し参加8000円

10月2日(木)18:30~岡山市勤労者福祉センター大会議室

記念講演：松竹伸幸さん「憲法9条が世界を変える」連絡先：岡山県労働者学習協会

☆赤磐九条の会「日本の青空」上映会 前売り1000円(学生800円)

10月5日(日)10:30~、13:30~赤磐市桜が丘いきいき交流センター

☆「第6回国際平和博物館会議」連絡先：立命館大学国際平和ミュージアム

10月6日(月)~8日(水)立命館大学衣笠キャンパス

10月9日(木)京都造形芸術大学

10月10日(金)広島平和記念資料館メモリアルホール

☆76期岡山労働学校「活憲教室」第1講義 単発参加1500円

10月9日(木)18:30~岡山市勤労者福祉センター

「まずはみんなで考えよう—私はこの条文に注目」連絡先：岡山県労働者学習協会

☆「ドイツ兵捕虜シンポジウム」10月13日(月・祝日)

【編集後記】

久しぶりの現代イギリスの労働者を主人公にしたケン・ローチ監督の「この自由な世界で」をみました。勝ち組負け組は日本だけの話ではない。世界を席巻している新自由主義は、イギリスではたとえば、東欧からの移民の犠牲のもとに成り立っている。そんなことがわかる映画でした。(くま)